

緊急リレートーク！「岸田政権による原発回帰がもたらす10の問題」開催中のQ&A (20230115)

	参加者からの質問	CCNE回答
1	<p>「政府の考えは... 自然エネルギー100%は不可能と考えられます」とありましたが、政府の文書や発言で自然エネルギー100%を否定したものはあるのですか？第6次エネ基策定の過程で「電源構成6案」の一つに「自然エネルギー100%」が出されましたが、まともに検討されなかったと思います。</p>	<p>第6次エネルギー基本計画策定の過程で、書かれているような議論を経て2050年の電源構成の「目安」が示されましたが、再エネは50～60%とされています。一定程度原子力に頼らなければカーボンニュートラルが実現できない、とされています。（吉田明子）</p>
2	<p>海渡弁護士へ。 小倉さんの5重の壁とは違う話ですが、福島原発事故の後、日本の原発は五層の深層防護の体系の下で再稼働されることになった、のかどうかは未だに不確定なのだと思います。つまり原発再稼働裁判で今、避難計画の不備が単独で止める理由になるのかどうか、に裁判所での争いがあるわけです。東海第二では勝訴しましたが。この不備の問題はどこのパブコメで指摘できるものでしょうか？</p>	<p>お尋ねの点は基本的考え方の福島事故の教訓のところ、パブコメを出せばよいと思います。（海渡雄一）</p>
3	<p>イチエフ廃炉も地層処分も目途が立たない中、原発のどこがgreenなのかライフサイクルの視点からも原発を糾弾すべきではないでしょうか。温排水も評価すべきだし再生可能エネルギー、地熱等への熱意もエネルギー基本計画には見られませんし。</p>	<p>コメントありがとうございます。ご指摘のように、原発は、発電に使える期間が（事故などがなかった場合でも）数十年、それに対して、後始末にかかる時間が10万年以上というもので、これを「発電時にCO2を排出しない」ことだけに注目してGreenというのは、まったく納得のいかない議論だと思います。（菅波 完）</p>
4	<p>現在の原子力規制委員会の考え方は、燃料溶融事故時の放射能放出を前提とした設計（フィルタベントの設置）を認めています。したがって、住民の避難計画は必須です。原発導入当初と基本的な安全の考え方が変わっていますが、その点についてほとんど市民に告知されていないのでは？</p>	<p>原子力災害を想定した防災・避難訓練は、立地自治体では、福島原発事故前にも行われていました。福島原発事故後は、原発30km圏内の自治体に、防災・避難計画の策定が義務づけられました。ご指摘のように、市民への告知が十分かどうか問題だと思いますが、自然災害などとの複合災害や、豪雨や積雪などの悪天候との複合災害を考えると、広範囲の住民が避難することは不可能だと思います。そのことについて、多くの原発立地で、住民のみなさんが声を上げていますが、形式的な防災・避難計画でお茶を濁している自治体の対応にも問題があると思います。（菅波 完）</p>
5	<p>家電が故障した場合、10年くらいかそれ以上になるともう「部品がない」といって修理できません。ウエスチングハウス社などはどれくらいの期間、部品を用意してくれているのか、パブコメで聞いたら答えがくるのでしょうか？原子力規制委員会ってそういうことも把握しているんですか？</p>	<p>一般的には、修理用の交換部品のリストはメーカーが出しています。もちろん古くなると、部品がなくなることも考えられますが、規制委がこの問題をよく考えているとは思えません。（後藤政志）</p>
6	<p>後藤様、当初の福島1号機の設計寿命は何年ですか？1960年代の設計ですので、20-25年と考えていましたが、GEの正確な設計寿命は分かるのでしょうか？ よろしく願いいたします。</p>	<p>私の記憶ではかつて30年だったと思います。その後、40年としてきたようですが、明確な基準は仕様書を見ることになるとは思います。必ずしも書類上確認してはいません。私は、設計寿命（目標としても）を考慮せずに設計することなどあり得ないと考えている次第です。（後藤政志）</p>

7	自民党の石破議員が、過去に「核兵器開発のため、原子力発電所における原子力利用は必要である」と発言した記憶があるのですが、間違いはないでしょうか？	https://toyokeizai.net/articles/-/449239 この辺りが参考になります。（松久保肇）
8	規制委委員長が山中氏に代わってこれで3人目？当初から言われていた、人選の「利益相反」問題は恐らくまだ未解決なのでは？完全に独立した第三者でない限り、「推進ありき」の決定が続くでしょう。恥ずべき亡国の「島国的忖度根性」を、いい加減改める手立てはないでしょうか。	山中氏は委員就任時に原子力関係から寄付を受けていることを公開しています。 https://www.nra.go.jp/data/000198957.pdf 田中知委員も東大教授時代に寄付を受けています。 https://jp.reuters.com/article/tokyo-uni-prof-tanaka-idJPKBN0EK0FB20140609 杉山智之委員もかつて原子燃料工業から報酬を受けていました。 https://www.nikkei.com/article/DGXNZO48019870T01C12A1CR8000/ （松久保肇）
9	今回のパブコメ対象に共通なのは、原子力発電を何が何でも再開するという強い原子力村（村長は経産省）の意思を感じます。資料の中で、海外でも原子力回帰の動きが多くみられるとの記述が散見されますが、原子力市民委員はその状況を把握されていますか？	原子力市民委員会として特にとりまとめてはませんが、ベルギー、英国、韓国、スウェーデン、スイスなどの動きを注視しています。情報源としては、海外紙・通信社による報道と、シンクタンクやNGOの発信です。ただ、各国それぞれの事情や制約があり、単純に「世界は原発回帰に向かっている」とは言えないと考えられます。GXは都合のよい動きを摘み食いしていると言えます。EUが原発と天然ガスを「グリーン」に分類したというのも、原発についてはかなり厳しい条件がついています。投資ガイドラインとしての分類（タクソミー）なのですが、金融サイドからの反応は冷ややか。（細川弘明）
10	再生可能エネルギーへの投資の規模と比較して、気候危機対策にほとんど意味のない原発にGXの名目で投資することも問題なわけですね。	ご指摘のとおりです。原子力はわずか1兆円ですが、GXにむけた総投資額150兆円中、呼び水としているGX債による20兆円を、どこに配るのかというのは大きな問題だと思います。1兆円は原発、水素・アンモニア7兆円、CCS4兆円で、原発・火力の生き残りに過半が蕩尽されてしまうのではないかとみています。（松久保肇）

11	<p>国の責任というものを、具体的に示すことはできないでしょうか？行政と政府のやってきたことを明示できれば、と思います。</p>	<p>ご質問ありがとうございます。</p> <p>避難者訴訟・生業訴訟に関する国の責任について言えば、「2002年に国が公表した地震予測「長期評価」に基づいて、国が東電に防潮堤の設置を命じるべきだったのではないか」というところが争点となりました。控訴審では、原告の訴えが認められましたが、最高裁では、「もし命じていたとしてもそれ以上の津波が襲ったのだから事故は防げなかった」として「国に責任はない」としました。「結果としては防げなかったのだから国には責任はない」とする最高裁の判決については、弁護団も原告も遺憾の意を示しています。</p> <p>国の責任については、法律面と財政面で示すことはできるかなと思っています。原子力基本法の中で「原子力の運用」を明示しておきながら。今回のように原子力に関して政府や原子力委員会が方針を示しておきながら。そして（今回触れませんでした）多額の税金を事故以前・以後に投入しておきながら、国に責任はないと言えるのか。という点です。確かに仰る通り、「国の責任」を誰もが分かる形で明示することは重要です。トライしてみたいと思います。（西島香織）</p>
12	<p>パブリックコメントを書く上での、とても参考になっています。私たちの中国地方は、新設→山口県の上関原発計画、建設中原発→島根原発3号機、再稼働→島根原発2号機、廃炉作業中→島根原発1号機と原発問題のすべてを抱えています。特に新設計画の上関原発は計画が公けになって41年を超えました。地元住民の人たちの分裂と亀裂は、許されない状況です。中国電力のことに関心を持っていただき、皆さんのパブリックコメントにも触れていただきたいと思います。</p>	<p>皆さんにお読みいただきたく、共有します。</p>
13	<p>原発新增設もそうですが、ここまで原発に楽観論をとれるのは、驚きです。3.11以前も原発は、決して安定電源でもないし、金食い虫でもあった事は電力事業者も承知しているはず</p>	<p>コメントを共有いたします。</p>
14	<p>コストに関する質問です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで政府が原子力に投じてきた金額は累計いくらになるのか(原子力研究開発費、立地交付金、最終処分費用、等?) ・最新の原子力のコストに含まれているのか？ <p>すごく難しいと思いますが、もしおおよそでもご存じであればお伺いしたいです</p>	<p>だいたい年間3500億円くらいが原発向けに支払われてきました。細かい数値は、財政資料を精査しなければわかりません。非常に細かい数値は、私の本で恐縮ですが、『再生可能エネルギーの政治経済学』という本で、震災前までの数値を精査しています。</p> <p>なお研究開発経費については、IEAが各国まとめて公表しています。（大島堅一）</p>

15	<p>原発の導入時にすでに自民党は、核兵器への担保として原発と再処理工場の存在を考えていました。それを証明する1969年の公文書が、2010年の機密解除された外務省の外交政策企画委員会が作成した「我が国の外交政策大綱」に、核兵器への目的とそれを国民に知らされないよう配慮すると書かれています。私も当時、国家公務員だったので、原子力の平和利用という美名のもとで、原子力とつければ予算が何でも通るといって、上司が何とか原子力と関連付けられないかと首をひねっているのを見ていました。その様子から、原発の目的が単にエネルギーだけではないと感じました。もっと原発だけでなく核兵器への反対も入れていかないと空しい闘いになると思います。当時から国民には核兵器への担保を気づかれないようにして今日に至っています。いつまでも、国に騙されない運動をしい。</p>	<p>コメントを共有いたします。</p>
16	<p>伊方原発の現地の立場からコメントをしますが、四国電力管内にはもう伊方3号機以外は廃炉になっていて、3号機さえ遅かれ早かれ廃炉になれば、原発ゼロになる、そのことが最後に残った希望だ、とっていました。</p> <p>今回の政府の動きは、事故を起こすまでは永久に既存原発を動かすのだ、リプレースもするのだ、という「脱原発の否定」という意味が一番ショックなことだと今は思っています。</p>	<p>本当にその通りだと思います。伊方原発の地元からご参加の方からのコメントを共有いたします。</p>
17	<p>原発がトラブルで停止した際、その部分の点検とその審査に関わった担当者に責任を帰すようなシステムは、恐らく日本にはないのだと思いますが、世界にも無いのでしょうか？</p>	
18	<p>質問ではないですが、今回の岸田の発言を聞いて、「原発は不老不死」か！と思いました。</p>	<p>そのように思われても仕方ないですね。ぜひ、そのようなコメントも含めて、パブリックコメントを送ってください。とても重要な指摘です。（大島堅一）</p>
19	<p>一昨年、前回のエネルギー基本計画の策定の段階でも審議会の中で産業界委員からはリプレースなどの原発推進の発言が結構出たのが、当時は反映されなかった、という経緯も確かあったかと思います。規制庁の中の動きもその頃からでしょうね。</p>	<p>コメントありがとうございます。今回のGX実行会議の資料とほとんど同じようなものが、昨年6月に経団連から「提言」されてきました。詳しい経緯は確認できていませんが、原発産業を維持したいと考える人たちは、40年の運転期間の制限をなんとか外したい、さらに新增設や次世代炉開発に、国のお墨付きが欲しいと思っていたのだらうと思います。（菅波完）</p>
20	<p>パブコメ、実名で1通、匿名でもう少し出そうと思っていますが、ip adressで同じ人間ってわかってしまうのでは？</p>	<p>ご質問ありがとうございます。同じ人間が何通だしてもいいと思いますよ！実施要領で「一つの意見を一つのフォームで」と書いてあるので、それも織り込み済みかと思います。また、同じような意見を違う表現で複数だすのもいいのかと思います。（満田夏花）</p>

21	原子力規制庁と経産省はダブルスタンダードということですが、規制庁にはどのような人材配置ができる可能性がありますか？	規制庁はもともと原子力安全保安院という経産省の組織だったので、経産省出身者が多くなることはやむを得ないと思います。問題は、経産省の重力をどのように排するかだと思うのですが、そうした問題意識が規制委員会にも規制庁にも欠如していることです。規制委員会側にそうした問題意識をもった委員を配すること、また規制庁のトップにも置くことが重要だと思います。（松久保肇）
22	今回のパブコメ対象の資料を読むと、最初のところで、運転期間延長については、行政の判断が規制委員会に優先することの確認を何度も行っています。	
23	「原子力規制委員会は、令和2年7月29日に「発電用原子炉施設の利用をどのくらいの期間認めることとするかは、原子力の利用の在り方に関する政策判断にほかならず、原子力規制委員会が意見を述べるべき事柄ではない」との見解を明らかにしているところである。」	
24	防潮堤の設置を求めることを怠った「国の意思決定」の責任者は、どの省庁のどの役職の方なのか、誰なのか？それをハッキリできればと思うのです。難しいでしょうか？「国の責任」というものを隠れ蓑にしているよう人々がいるように思っています。国策を推進するために、その地域に言いなりになる組織を作り、地域が国策を受け入れる形を作る。原発でも基地でも同様ですね。いま、軍事基地要塞化が進んでいる、与那国島について研究中です。国防族のやり方は巧妙です。合意の前に既成事実を作り、地域に分断を持ち込んでいます。回答ありがとうございます。基地と原発のない未来をつくりましょう！	<p>・なるほど、仰る通りですね。本当に、基地も原発も他の公害も同じような構造がありますが、「国」と言えども個別の個人の選択の積み重ねですね。ご質問についてはこちらでも調べてみます。今後とも宜しくお願い致します。（西島香織）</p> <p>・保安院です。そのことは東電刑事裁判の資料の中で、明確にされています。特に責任が重いのは、森山氏と名倉氏の二人です。刑事告訴しましたが、彼らは不起訴になっています。（海渡雄一）</p>
25	満田さんへ：原子力規制委員会について、仰るように規制委は原発再稼働に厳しい姿勢を示し原発電力や経産省の意に沿わない運営であったこともあります。しかしそれは、元々原発再稼働を進める方向を向いたもので、その前提の上に自分たちの権威や独立性を演出するものであったように思います。「ノーリターナル」が守られない組織は独立性を保つことはできず、中立・公正というのは錯覚であると思います。	ご指摘の通りですね。私自身は、そもそもいかに「形式上」原子力産業から独立している研究機関や学識経験者委員がえらばれていたとしても、そもそも原子力に関する研究予算で原子力研究を行っている人たちが原子力推進勢力から独立できないわけないと思っています。たった5人の委員で議論される原子力規制委員会に、期待することもできませんし、最初から、彼らは事業者からのヒアリングは頻繁にくりかえしても、慎重な立場の専門家や市民の声はいっさいきかないという姿勢はとても問題だと思います。（満田夏花）
26	原発は、再稼働どころか、新設、次世代原発まで大手をふるって論じられますが、「技術的には、安全な原発は可能だ」という根拠をあげていますが、北朝鮮（民主主義人民共和国）が現在の政治状況である以上、どんなに安全であっても、軍事的なリスクは増えることがあっても減らすことは不可能です。それを回避する唯一の手段は先制攻撃とそのためにより充実した武力です。このことがとりあげられたでしょうか。	武力でリスクを回避することは不可能です。（小倉志郎）
27	経産省・経済界の本音は、新規制基準対応のため多額の投資をした電力会社をサポートするため、稼働延長で投資を回収させようというものではないでしょうか？	失敗した投資に対して補助するものです。つまり、経営判断が失敗しても、費用回収させてあげるというようなものです。（大島堅一）

28	大島さん早速ありがとうございます。ご著書のほう参考に致します。他の電源と比較して、すでに膨大なコストが国民負担で支払われてきたことが示せると、問題の深刻さが伝わるのではと感じました。調べてみたいと思います。	返信コメントを共有いたします。
29	パブコメ、どのように有効なのでしょう？ただ、聞くだけという感じがして、むなしい感じがいつも残るのですが、友情だというもう少しわかりやすい根拠が知りたいです。	ライブ中継で回答済み
30	未曾有の被害が出る前も、あとでも、「原子力産業だけ、特別扱い」とは、なぜ？なのか本当に疑問！経済合理性、エネルギー政策、気候危機、民意、、、何より「安全性」の点から、あり得ない選択。なぜ「国策」としてつづけるのでしょうか？潜在的核保有能力の維持、アメリカとの関係、原発マネーをめぐる利害関係、、、改めてお伺いしたいのは、「特別扱い」はなぜ？それを大転換するには？	お書きになっているような複数の事情・利害が一致して「特別扱い」が続いてきたのではないかと思います。それらの利害を可視化していくことが、まず大事では？（細川弘明）
31	満田さんへ：ご教示ありがとうございます。市民の立場からは、政府の「委員会」の人事や運営が片寄った恣意的なものであることは、なかなか見えません。メディアはそのような問題をあまり報じません。規制委については今回「ここまでズブズブだったのか？」という印象があります。現在、日銀が政府から独立性をもつと考えている人はほとんどいないと思います。同様の認識が規制委に対しても必要かと。	返信コメントを共有いたします。
32	パブコメをまとめたものだけでなく、元の投稿を一覧で見るとはできないのでしょうか。パブコメをまとめられたものを、どの程度信頼していいのでしょうか、との懸念があります。以前、NUMOの対話集会で発言したことが、私の発言と全く異なる趣旨で対話集会の発言記録とされたことがあるからです。	
33	今日は午後から原発さよなら四国ネットのミーティングがありますので、資料等活用させていただきます。	
34	パブコメではないですが、自民党のHPで、意見表明は自由に出来ます。匿名でも可です。参考まで https://ssl.jimin.jp/m/contacts?_ga=2.124625226.1542665369.1673753058-2079866175.1673753058	
35	国会議員と言え、単なる国民に選出された人に過ぎないはずだと…。国民から徴収した税金をさも、自分のお金の様な様な使い方をする法律を作ることに力を注いでいるように感じて、腹が立ちます。先日4つの項目別に書きましたが、今日からもパブコメを出したいと思います。	
36	可視化するためには？という課題に、どう取り組むか、ですね。メディア、市民、専門家、政治家・官僚の協力の重要性。	

37	大変素晴らしい内容でした。今日のリレー講義は、資料だけではなくビデオをHPのアーカイブで再視聴できますでしょうか。内容が濃く、私には早過ぎて理解が追いつかない部分がありましたので、もう一度今日の内容を見ることができないでしょうか。また、ぜひ今日参加しなかった友人にも見て欲しいのです。よろしく願いいたします。	ご参加ありがとうございます。後ほど、動画を公開いたします。ぜひお知り合いなどにご紹介ください。
38	お疲れ様でした！ありがとうございました。貴重なお話ばかりでパブコメに全部書き込みたいレベルでした。多くの人にパブコメを出してもらえるように情報拡散します。	